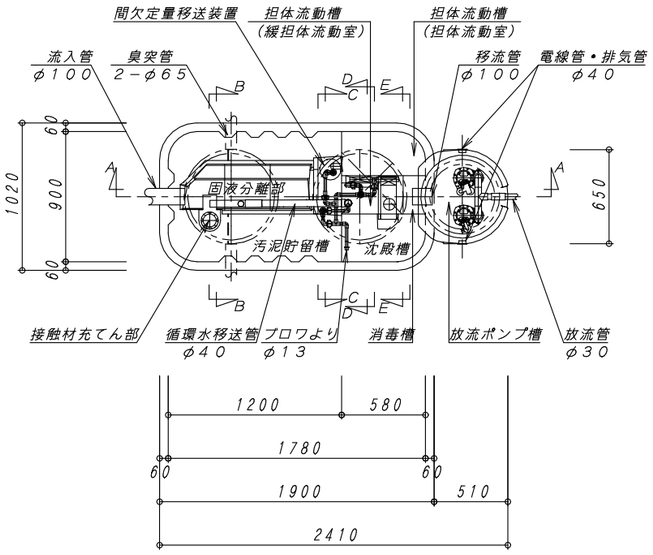
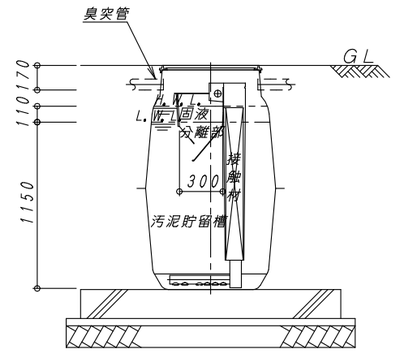
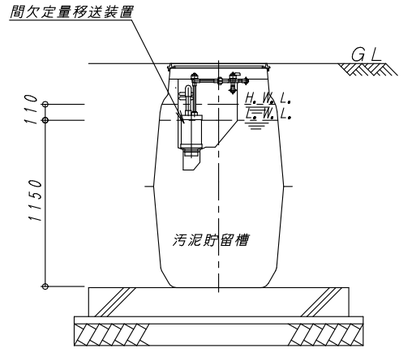


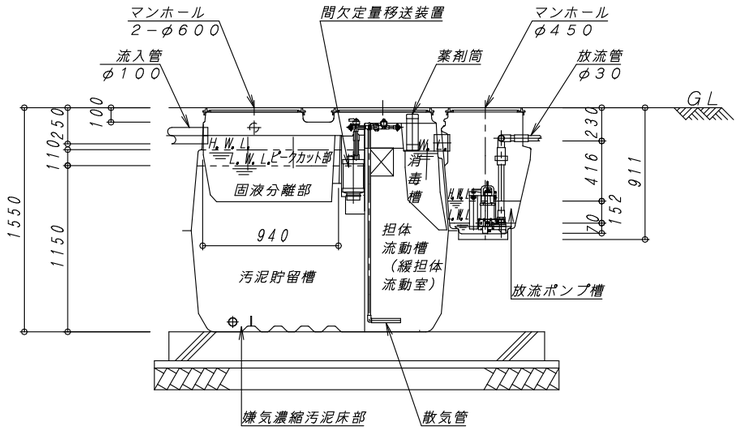
平　面　図　1：30



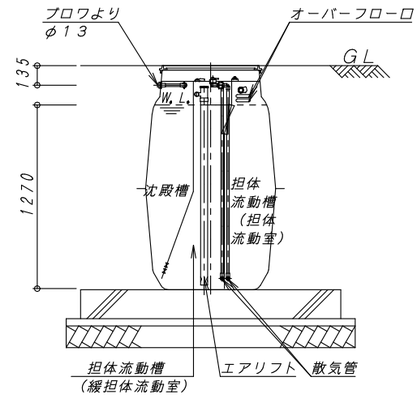
B−B　断　面　図　1：30



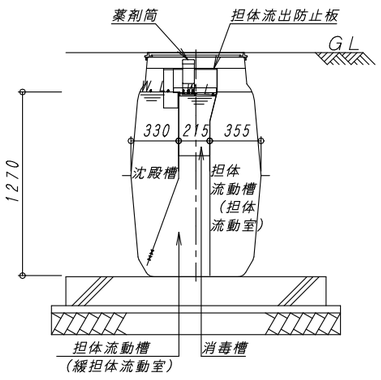
C−C　断　面　図　1：30



A−A　断　面　図　1：30



D−D　断　面　図　1：30



E−E　断　面　図　1：30

エコマーク認定番号　12151001		
建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項の大臣認定による固液分離型流量調整付担体流動循環方式		
型式認定	認定番号	5−18−H−001
	認定年月日	平成30年5月22日
型式適合認定	認定番号	型01Cad0c0054571
	認定年月日	平成30年4月6日
型　式		ダイエー浄化槽　FCE5型
処理対象人員		5人
日平均汚水量		1．0m³／日
流入水質		BOD200mg/L SS160mg/L T-N45mg/L
放流水質		BOD 20mg/L SS 20mg/L T-N20mg/L

容　量　表

項　目	設計容量	
	H．W．L．	L．W．L．
固液分離部	0．035　m³	
汚泥貯留槽	1．169　m³	1．071　m³
ピークカット部	0．098　m³	
担体流動槽	0．389　m³	
(担体流動室)	0．212　m³	
(緩担体流動室)	0．177　m³	
沈殿槽	0．145　m³	
消毒槽	0．021　m³	
総容量	1．724　m³	1．626　m³
放流ポンプ槽	0．040　m³	

機器仕様表　(単相・100V)

機器名	口　径	入　力 (50／60Hz)	吐出量 (50／60Hz)	台　数
ブロワ	φ13	28W以下	0．05 m³/min	1台
放流ポンプ	32A	130 W	0．08 m³/min	2台

放流ポンプ槽排気管について

下記の処理を怠ると、浄化槽内で発生する塩素ガス等が浄化槽内および電線管の接続先付近に設置している機器類を腐食させて、機器の破損、故障を生ずる恐れがあります。
注1）放流ポンプ槽の排気管は必ず接続して下さい。
注2）排気管の放出先は、側溝の最大水位より上に設置して下さい。設置位置の目安は側溝の最大水位より100mm以上、上部とします。
注3）排気管は途中で水たまりが出来ないように、適切な勾配で配管して下さい。
　　V字配管で、配管内が水たまりで水封されると排気管の設置効果がなくなります。
注4）電線管の両端は、シリコンまたはパテ等でコーキング処理を必ず行って下さい。

※管理用水栓は10m以内に設置すること（浄化槽工事範囲外）

No.	内　容	日　付	担当者	承　認	備考：寸法は内寸法とする。
△					
△					
△					
△					

承認	検図	設計	製図
	家田	都築	内藤

DAIE　大栄産業株式会社

ダイエー浄化槽　FCE5型

構造図　(放流ポンプ槽付)

図番	FCE5H
縮尺	1：30
日付	H30．9．1

REV △